

山本医師 地域医療研修



地域医療・離島研修として、徳之島診療所・奄美中央病院・南大島診療所で9週間お世話になりました。地域医療研修を通して強く感じたことは、『人とのつながり・地域とのつながりを大切にして医療を行っている』ということです。まず、私が一番研修で中心に考えていた『訪問診察』



ですが、鹿児島市内と異なり、道路が細くでこぼこしており、また交通機関も乏しいため、病院・診療所まで受診できない患者さんがおり、その患者さんたちの健康を守るためにも訪問診察はなくてはならないもので、地域のニーズも強く、まさにこれが『島の医療』だと感じました。研修中に



受け持った患者さんで印象深かった方は、家に伺うと発熱、意識レベル低下を認め、介護タクシーで来院してもらい精査加療目的に入院し、無事治癒して、お家に帰って訪問診察で伺うと、にこやかな元気な表情を見せてくれ、嬉しかったです。次に、『スタッフ間のコミュニケーションが密』にとられているのに驚きました。入院中の看護・リハビリ・栄養士とのカンファレンス、退院前にはケアマネージャーや施設のスタッフとのカンファ



レンスと、患者さんが生活していくうえで、医学的な面だけではなく、介護・福祉的な面からもサポートしており、鹿児島に帰ってからも多職種でのコミュニケーションをとっていきたいと思いました。人とのつながりが強く、互いに助け合うのは島の人の気質なのでしょうか。奄美に来てよかったなと思ったことの一つです。そして名瀬フィールドにもスタッフとして参加させて頂き、学生の学びのサポートを行いながら、私自身も多くのことに

気づき、改めて医療を行う姿勢についても見つめ直すよい機会となりました。スタッフたちの献身的な頑張りフィールドは大成功だったと思います。最後に公私ともに充実し、休日には海に連れて行ってもらい、シーノーケリングで魚もいっぱい見ることができ、楽しい思い出がいっぱいできました。9週間という短い期間ではありましたが、スタッフの皆様には本当にお世話になりました。熱くご指導頂いたり、優しい言葉をかけて頂いたり、いろんな意味で成長できたのではないかと感じています。地域医療研修で学んだことをこれからの医療に生かす、そして人としてより磨きをかけていきたいと思っています。ありがとうございました。